

## 雲南地方で生きた韓国朝鮮人の暮らしを追いかけて

雲南地方のお寺の無縁墓地に韓国人女性の墓標が立っています。これには 1944 年（昭和 19 年）に亡くなった故人の名前や出身地が刻まれています。私たちの調査活動は、この韓国人女性の墓がなぜここにあるのかを調査することから始まりました。

アジア太平洋戦争前、戦争中に雲南地方では斐伊川水系を利用した発電所建設とそれに伴う導水路を作る建設工事に多くの朝鮮半島出身の人々が動員されていました。それは、当時、朝鮮半島が日本の植民地であったからです。

この工事は、十分な機械もなく人力に頼る工事であり、硬い岩盤や田んぼの下を通るなど難工事であったことが、写真からもお分かり頂けると思います。工事現場は 24 時間体制の突貫工事であり、多くの韓国朝鮮人が亡くなっています。

こうした私たちの身近な地域に眠る日本と朝鮮半島、アジアと関わる歴史を掘り起こし、率直に向き合うことが、韓国・朝鮮、アジアとの友好につながっていくものと確信しております。

日本・韓国の市民友好を考える会